

# 第1回 岐阜県教科用図書

## 安八町・東安中学校組合教育委員採択協議会

1 日時 令和6年7月22日（月） 16:45～17:30

2 場所 安八町中央公民館中会議室

3 出席者〈教育委員〉 〈事務局〉

教育長職務代理者	菊田美由紀	教育長	青山桂子
	西山直広	教育課課長	坂和由
	渡邊幸良	教育課課長補佐	中原真奈美
	大橋香代子	担当	白木敦子

〈東安中学校組合 教育委員〉  
棚橋 剛

### 4 議事

#### ○西濃地区採択協議会の採択結果及び採択理由の説明（教育長より）

- ・採択で重視していただきたいことは、西濃地区の子どもたちが使用するという  
ことで、第4次岐阜県教育振興基本計画に基づき、特に「個別最適な学び」と  
「協働的な学び」の一体的な充実が実行できるかということである。
- ・小学校は、昨年度採択されたものを4年間使用するが、後ほど議決をお願いし  
たい。
- ・中学校の教科書で現在使用している教書書と違う会社になるのは、理科が啓林  
館から東京書籍、数学が大日本図書から東京書籍になる。
- ・国語は、今までと同じ光村図書である。各單元にも「学びへの扉」という項目  
があり、1つの題材でどのように学習していくのか見通しがもてるようになって  
いる。また、巻末に「学習のポイント」があり、ICT活用のヒントも書か  
れている。話す・読む・書くことの3領域において自分で学び進めていける。  
情報に関しては、「思考のレッスン」があり、言葉の吟味ということで、対話的  
な学びとなるように吹き出しを使って学んだり、グループでの対話にも活用し  
たりできる。
- ・書写は、東京書籍である。行書がうまく書けるようにポイントが示されている。  
書写の活用ということで、巻末には、具体的に実生活で取り入れていけるよう  
に工夫されたページがある。
- ・社会は、東京書籍である。地理分野では、「確かめる→ふりかえる→探究する」  
といった自分で個別に学習できる流れになっている。写真や統計資料も多い。  
歴史分野では、小学校から中学校への流れがとぎれないように配慮されている。  
単元導入の写真提示により、どんなことを思い、その思ったことを対話的に学  
んだり、小集団で学んだりできる工夫がみられる。公民分野では、疑問をもた  
せ、とらえていく学習の流れがみられる。「コラム」によって、より深めた学び

- もできる。図を使いながら自分で課題追求する。主体的に学ぶ手法も学べる。
- ・地図は、東京書籍ではなく、帝国書院である。「地図で発見」によって地図の見方が分かる。様々な資料の解決ができ、他の教科書の会社と違っている。
  - ・数学は、東京書籍に変更になり、一連の学習の流れが分かり、言葉で説明し、別の考えを出して広げていける工夫がされている。1人で学ぶのではなく、仲間と学び、協働して学べる。あきらめずに粘り強く示された考え方を手がかりにして学べるようになっている。
  - ・理科は、東京書籍に変更になり、理科は、追究が大切なので「？」という項目でこうするとどうなるのかと思考させるようになっている。様々な視点から考察できるように教科書の例から自分になかった思考をもつことができる。アイコンによって、実験のシュミレーションが見られ、映像で確認できる。
  - ・音楽は、教育芸術社である。「マイボイス」の項目では、声の発音や声の出る仕組みなどよい声で出るように、理論的に分かるようになっている。つまずきやすいポイントを示し、よりよいものをつくる考え方を導いている。器楽の教科書の「学びのコンパス」の項目では、音の違いが分かり、よりよい演奏ができるように動画で見ることができ、学べるようになっている。
  - ・美術は、日本文教出版である。絵でイメージさせる「造形的な視点」というヒントによって、苦手な子も取り組みやすく、主体的に継続的に学べる工夫がある。
  - ・保健体育は、東京書籍である。主体的に学べるように、「みつける→課題→解決→活用→実生活に生かす、役立つ」という流れで学ぶことができる。
  - ・技術・家庭科は、東京書籍である。問題をみつけ、どうすれば解決できるか、技術の視点によって問題解決できるようになっている。
  - ・英語は、東京書籍である。単元の初めにゴールを示し、出口につなげるように毎時間積み上げていく構成になっている。「コラム」によって説明が示されている。
  - ・道徳は、東京書籍である。いじめを取り上げた題材では、3教材ユニットを組み、続けて学んでいく構成となっている。より深く自分を見直し、主体的に学べるようになっている。

#### ○教育委員様からのご意見・ご感想

- ・国語の「学びへの扉」が横書きでもとても見やすい。さくらももこさんのイラストなどカラフルで興味を引きそう。
- ・地図の帝国書院は、ポイントがよく見やすいので教科書と会社が違っているがよい。
- ・数学では、考えさせるページが多く、自ら考える教科書になっていてよい。
- ・音楽や美術では、QRコードがたくさん入っていて、学べるのがよい。
- ・QRコードのデジタルコンテンツが多く、英語の発音など、より深める学びになっていてよい。
- ・国語や道徳では、今話題の人が載っていて興味もてる。絵も多く、見やすいので文字だけよりも分かりやすい。
- ・数学では、問題を解くだけでなく、論理的に考える進め方は、中学生に合っている。

- ・道徳では、漫画風イラストが多く載っているがよいと思う。
- ・英語では、QRコードが活用しやすい。
- ・国語では、「学びへの扉」が横書きで画期的であるがフロー的に書かれていて分かりやすい。
- ・QRコードは、使いやすく分かりやすい。吹き出しなども多く、とらえやすい。
- ・写真やカラーが多く、見入ってしまう教科書になっている。教科書を見る時間も増えるのではないか。
- ・どの教科と言えないが、学び合い・協働学習しやすい構成になっている。
- ・若い先生や経験の浅い先生でも使いやすい教科書になっている。QRコードなどは、使いやすいし、むしろ若い先生の方が使いこなせるだろう。
- ・学校に来れない生徒でもタブレットを使えば授業に出ていなくても分かる教科書になっている。
- ・これまでの教科書会社と同じ教科書が多く採択されているので、先生方も自信をもって使える教科書になっている。適しているのではないか。

## 5 議決

協議の結果、小学校・中学校とも採択原案のとおり決定した。